

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

■発行：(公社)鹿児島県工業倶楽部 ■企画・編集：総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 <http://www.ikic.or.jp> E-mail:info@ikic.or.jp

59

2017年2月

平成29年 公益社団法人
鹿児島県工業倶楽部新年大会
各種活動紹介
新会員情報
若手経営者・後継者紹介



平成
29年

公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部新年大会

◆日時 / 平成29年1月17日(火) ◆会場 / 城山観光ホテル(ロイヤルガーデン)



豊歳直之大使 (駐日パラグアイ大使)



岩元正孝会長



中村朋美氏 (フリーアナウンサー)



三反園訓知事 (鹿児島県)



前田芳實学長 (鹿児島大学)



トークセッション(上田平氏・斉藤氏・謝花氏)

会員の交流、資質向上のために講演会を中心に実施されている「工業倶楽部新年大会」が1月17日(火)鹿児島市内のホテルで、約130名が参加して開催されました。

まずはフリーアナウンサーの中村朋美氏が「顧客満足のためのコミュニケーション力～スピーチ力と傾聴力～」という演題でユーモアを交えながら講演、思わずうなずいてしまうような素晴らしいお話でした。

続いては、JICA(独立行政法人国際協力機構)の全面的な協力の下、豊歳直之駐日パラグアイ大使等をお招きして、セミナー「未来はチャンスにあふれる!～南米日系ビジネスとの連携～」を開催しました。普段あまり接することのないパラグアイやアルゼンチンといった国の状況や、それらの国で活躍する日系人についての講演の後、南米日系社会とどう連携しビジネスに繋げていくのかについて、斉藤顕生氏(JICA中南米部審議役)、謝花一成氏((株)リュウクス代表取締役)、上田平重樹氏(インターマン(株)代表取締役社長)がトークセッションを行いました。パラグアイやアルゼンチンでは、日系人社会と連携することにより大きなビジネスチャンスが生まれてきそうです。

今年度新たに誕生した3つのプラザ等をご紹介します。

始良・霧島地区プラザ

伊佐地区プラザが始良・霧島地区プラザと名称変更し、県央部をカバーするプラザとして活動を開始しました。平成28年10月25日に、鹿児島県工業技術センターや鹿児島工業高等専門学校をゲストに迎えて第1回定例会を開催し、代表に(株)九州タブチの桑野会長が就任することとなりました。始良・霧島地区プラザに所属する会員は現時点で10社ですが、もともと企業の立地が多い地区だけに、今後の活躍・発展が期待されます。



地域資源活用プラザ

工業倶楽部にユニークなプラザが誕生しました。工業倶楽部会員が抱える課題に関して、当該会員と共に課題解決に取り組もうというプラザで、鹿児島大学の名誉教授等7名で組織しています。

最初の課題として、(有)尾塚水産のウニ殻活用等に関する「プロジェクトチーム ウニ」に取り組んでいます。相談したい課題等ありましたら、代表の竹田副会長までお願いします。



工農連携(オランダに学ぶ)研究会

オランダは、九州とほぼ同じという狭い国土面積で痩せた土地も多いという条件にもかかわらず、ITを活用した高付加価値農産物への選択的集中と施設の大規模化などにより、農産物輸出額が米国に次ぐ世界第2位という、世界有数の農産物輸出国になっています。そこで工業倶楽部では、工と農が連携した「強い農業」を目指して、オランダ型のスマート農業を研究するため、「工農連携(オランダに学ぶ)研究会」を発足させました。代表の弓場副会長のものと、すでに3回の定例会を開催して着実に成果を上げつつあります。



平成28年度第2回逆ラボツアー

11月11日(金)にカクイ株式会社で、第2回逆ラボツアーを開催しました。テーマは「綿を中心とする天然繊維を主体とした商品開発」、午後3時にカクイ株式会社本社に集合、本社で天然繊維を主体とした商品開発等について説明を受けた後工場を見学しました。

創業130年という伝統ある企業でありながら、これまでの技術を継承しながら新しい分野にも挑戦し続ける姿勢に、参加者は感銘を受けていました。



第68回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

11月9日(水)に第68回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催しました。

今回発表されたビジネスプランは

- ①株式会社オキス(鹿屋市)の「乾燥野菜を生かした機能性便利食材商品と国内外への販路拡大」
- ②三州産業株式会社(鹿児島市)の「木質バイオマス燃料焚き温風暖房機」の施設園芸分野及び熱源利用施設への販路拡大」
- ③有限会社ショウナンエンジニアリング(曾於市)の「マグネットインラインフィルター」の販路拡大
- ④リボンガス株式会社(熊本市)の「土足空間用温水床暖房「ECO-HRα(エコールアルファ)」の販路拡大」でした。



田島 祐一(公益財団法人 産業雇用安定センター鹿児島事務所長)

昭和62年3月、政府の30万人雇用開発プログラムの一環として、労働省と経済・産業団体の協力で「失業なき労働移動」をスローガンに全国47都道府県に事務所があり、鹿児島は中央町の南日本中央ビル4Fに事務所を構えております。企業の撤退及び会社都合による人員整理に対し、ハローワーク等行政とも連携を取りながら、無料で再就職支援を行っておりますので、お気軽にご活用ください。



永井 秀樹(株式会社海連 取締役会長)

工業倶楽部に入会させて戴き有難うございます。違う分野のまた見識のある方に接する機会に恵まれ、私の隠れた遺伝子にスイッチが入るワクワク感があり楽しみです。これから自身の進化発展に繋がるよう学び続けたいと思います。現在は平成11年に海連を創業し主に焼酎用冷凍甘藷を加工しています。薩摩の名に負けぬよう、さつま芋の加工品・サプリメントとさつま芋の良さを実用化したいと思っています。皆様の科学的・実業的見地からの専門的かつ人間的英知を賜れたら幸に存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



木之下 秀司(有限会社木之下工務店 代表取締役)

この度は、由緒ある工業倶楽部に入会させて頂き有り難うございます。私は大学卒業後、東京の建設会社に約5年間在職した後、鹿児島市谷山の(有)木之下工務店に再就職し家業を引き継ぎました。工務店での活動は、住宅や店舗の新築・リフォームの設計・施工及び公共工事の新築・改修などに積極的に取り組んでおります。近年の建物は自然災害に備える為の耐震化や省エネ化・バリアフリー化や健康面への取り組み、使いやすさの為のリフォーム及びリノベーションなど、その世代に合わせた住まいの提案が多くなっております。これから皆様のお仲間の一人として、引き続きご指導・ご鞭撻賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



久永 忠範(株式会社フォーエバー 代表取締役)

昨年の7月に入会させていただきました。会社は、昨年の11月に20周年を迎えた小さなIT企業ですが、システム開発、WEBサイト構築、IT研修、資格試験等、ITに関する県内の企業、行政、個人を対象に業務を行っております。中央駅一番街の本社を拠点として「地域に密着し、地域を活性化する」を企業理念として、ITを活用した地域の繁栄を目指しています。個人的にはITコーディネータとして時代のニーズに応じたものづくり企画や大学院でのオープンデータ活用の研究を行っていますが、様々な業界においてモノとネットワークというIoTのサービスが浸透してきています。これらを基点として工業倶楽部で、これからもっといろいろなことを学び、成長させていただければと思います。どうかよろしくお願いいたします。



岩崎 浩一郎(重富商事株式会社 代表取締役社長)

私は現在、日本ベンチャー学会・環境経営学会の会員であり、イノベーションやベンチャー企業などについての研究活動も行ってきました。また長い間、米国のワシントン州にある大学の経営とその大学の財団では理事として運営にも携わってきました。それらの経験を踏まえて、「産学官連携」をテーマとした鹿児島での異業種の方々との情報交換ができる場として鹿児島工業倶楽部に入会させて頂き、そして皆様と交流できることが楽しみです。よろしくお願い申し上げます。

地域の未来を創る、次代を担う若手経営者・後継者紹介

先達の開拓精神や生業を通しての好奇心が今を創り、その姿を通して、新しい物づくりへまた挑む日々！

そんな気概のあるお話を今回文字に表現できない程賜りました。

辛酸・苦悩・光明、涙とたくさんの汗。一層の飛躍・成長を託して次の代へ。



(株)ランドアート

代表取締役 黒田 清忠 (77歳)



様々な「ハカル」を未来につなげて

必要とされつつける会社をめざす！

当社は、昭和30年の竹尺「ものさし」製造開始をルーツとした会社です。その後、工事現場などで使用する木製ポールや黒板などの現場用品やハカリ・巻尺などの計量器を販売し、各種測定機器のメーカー・商社としての立ち位置を確立してきました。業界内では先駆けてカタログの整備に力を注ぎ、今年でVol.62号の発刊となりました。今年のカatalogのテーマは、『未来を描く新たな挑戦』です。

創業より拡大してきた「ハカル」道具以外に、近年では人の安全・健康にも配慮していこうという想いから、健康食品（サプリメント）などの販売も行うようになりました。その中でも特に、「夏場の猛暑から、働く人を守る」観点から、「猛暑対策用品」の企画開発・販売に力を入れています。当社の行動指針の一節「お客様が抱く不足・不満・不安を取り除く役割に徹し…」とあります。今後さらに変化していく地球環境や市場の変化にいかに対応していくか、どのような商品・サービスを提供することでお客様から必要とされ続けるか、未来を描き続ける会社をこれからも目指して参ります。



常務取締役
笹森 貴史 (44歳)

常務取締役
黒田 幾代 (44歳)



株式会社ランドアート

<http://www.land-art.co.jp/>

本社・工場/〒899-5694 鹿児島県始良市平松7233
TEL:0995-65-2162⑫ FAX:0995-65-5980
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-3ピクトリアスビル6F
TEL:06-6391-6153⑫ FAX:06-6391-6213
広島営業所/〒735-0027 広島県安芸郡府中町千代1-10 201号
TEL:082-284-6031⑫ FAX:082-284-5992

第6回「食と健康に関するシンポジウム」開催

トピックス

「健康長寿をかなえる鹿児島の食と生活」をテーマに、「食と健康に関するシンポジウム」を平成28年11月15日（火）に鹿児島大学稲盛会館で開催し、工業倶楽部・鹿児島大学関係者や一般の方々など200名余りが参加しました。このシンポジウムは毎年鹿児島大学との共催で開催しているもので、今年で6回目になります。

基調講演では、国立がん研究センター研究所の上園保仁教授が「がんを予防する食生活とがん治療における生薬の可能性」について講演した後、「柑橘類のがん・感染症予防効果の可能性と鹿児島での展開」「鹿児島産の明日葉・ボタンボウフウにおける機能性の解明」「百寿者の島、奄美に学ぶ健康を維持する生活習慣」「生活習慣病を防ぐ～焼酎の意外な機能性」について解説があり、健康長寿と食についてさまざまな議論が交わされました。



知財総合支援窓口



知的財産に関するワンストップサービスを提供します。

窓口相談

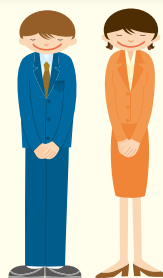
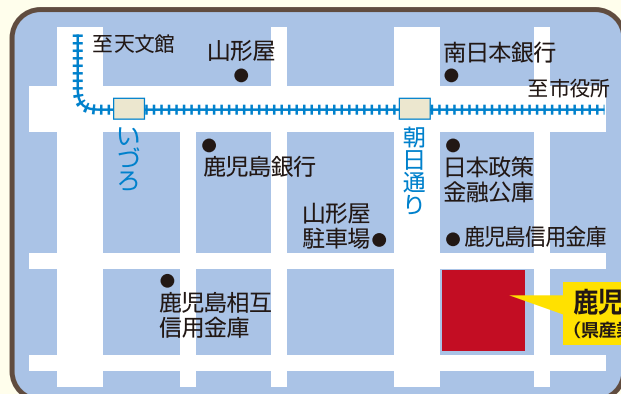
- 鹿児島県知財総合支援窓口（鹿児島市名山町 9-1 産業会館 中2 階）
毎週月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
※専門家による窓口相談を、週1～2回開催（予約制）

臨時窓口

予 約 制

専門家への相談も可。

- 鹿児島県工業技術センター（霧島市隼人町小田 1445-1）
毎月第3火曜日
- 鹿児島県大隅加工技術研究センター（鹿屋市串良町細山田 4938）
毎月第3金曜日
- 他にも、薩摩川内市・南さつま市・指宿市・南大隅町・種子島
屋久島・奄美大島・喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島での
臨時窓口での相談を開催します。日程等につきましては、窓口
までお問い合わせください。



■鹿児島県知財総合支援窓口

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号
（県産業会館 中2F）

TEL：099-295-0270

FAX：099-295-0274

E-mail：chizai@ikic.or.jp

【実施機関】公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

【利用時間】平日 8:30～17:15

【休館日】土曜・日曜・祝祭日・年末年始



漬物製造卸業
かんぱし屋 島津梅 本舗

みずたまり
溜 水溜食品株式会社

商品のお問合せご注文は

0120-294000

TEL0993-77-0108

FAX0993-77-1423

南さつま市金峰町宮崎2940

水溜食品株式会社

検索